



市では、旧3町時代から熱量変更事業に取り組み、平成18年9月11日から同年11月23日にかけて、低力ロリーガス「象潟地域、金浦地域19・25583MJ(4,600Kcal)および仁賀保地域29・3MJ(7,000Kcal)」から高力ロリーガス46MJ(11,000Kcal)に変更しました。熱量変更の具体的な狙いは、投資効率の向上による供給力の増大やコストダウン、ガス器具の使用にあたっての利便性や安全性の向上など、環境負荷の低減等で、全国の一一般ガス事業者が平成22年度まで計画的に実施することにしており、現在、東北管内では37事業者のうち26事

都市ガス料金、東北経済産業局等と協議中

都市ガス・上水道料金の統一を目指して

業者が高力ロリー化しています。今回の改定の主なポイントは、次のとおりです。

- 改定の主なポイント**
- ① 熱変事業に伴う原料ガス種の変更
 - ② ガス料金の総原価の見直し
 - ③ 旧3町間のガス料金の統一



※②・③については、現在、東北経済産業局等と協議中であり、方向性が決まります。次第お知らせします。



また、上水道においても旧3町間の上水道料金の統一に取り組み、料金の統一構想と併せて石綿管更新事業や旧施設の統廃合、新規水源開発等、将来の設備投資にかかる費用等による改定も視野に入れ、検討中であり、ガス料金と同様、市民生活に直接響くものであり、さまざまな調査や審議を重ね、適正な料金体系を図っていきます。

問合先 ガス水道局 管理課
☎ 37・3131

上水道料金の統一、改定を検討中

地域の関係する機関とネットワークを結びながら相談に応じていきます



介護保険に関して

地域包括支援センターは、介護予防支援事業所の指定を受け、介護全般の相談や、軽

度の認定者(要支援1、2)に対して介護予防サービスを作成するとともに、介護サービスの調整も行っています。

高齢者の暮らし

全般についての相談に応じています

どこに相談してよいか分からない心配ごとや悩みなどは、まず地域包括支援センターにご相談ください。地域包括支援センターでは、①介護に関する相談や心配ごと、悩みごと、②健康や福祉、医療や生活に関する相談、③高齢者や、その家族、近隣に暮らす人の相談などを受けます。相談を受けた地域包括支援センターでは、適切な機関などと連携をしながら支援していきます。



心配ごとや悩みなど、まず地域包括支援センターへ

高齢者の尊厳と権利を守ります

○虐待の早期発見、把握に努めます。

虐待を発見したり、虐待があると思われたときは、地域包括支援センターや市の担当窓口などに連絡してください。

事実確認を行い、保健・福祉・医療関係者等によるチームで支援していきます。

緊急の場合には、必要に応じて老人福祉施設等への入所など、他の機関と連携して高齢者を守ります。

○暮らしを守るための制度の情報提供します。

物事を判断する能力が低下し、日常的な金銭管理、契約、財産管理ができなくなった場合には、生活、財産を守るために「成年後見制度」や「地域福祉権利擁護事業」などの情報も提供していきます。

相談窓口

にかほ市役所 仁賀保庁舎
地域包括支援センター

☎ 32・3045